



ニュースリリース 平成 23年 5月 31日

＜企画展＞「雅な薫り かな料紙の魅力」のご案内 ～常陽史料館～

常陽銀行（頭取 鬼澤 邦夫）は、このたび、常陽史料館（館長 江橋 上）において企画展「雅な薫り かな料紙の魅力」を開催いたします。

かな文字文化が発達した平安時代に生まれた「かな料紙」。種類の異なる染紙を継ぎ合わせた継紙、金銀泥で描かれた下絵、箔を撒く箔散らし等の技法による絢爛な絵模様など、さまざまな趣向の優美な装飾が施されてきました。

「源氏物語」に代表される絵巻の詞書や色紙などに用いられ、書の美を演出するために発展してきた「かな料紙」は、流麗なかな文字と融和して雅な世界を作りだしています。

茨城県内においても小室義久さん（常陸太田市在住）が、約60年にわたり「かな料紙」（茨城県郷土工芸品指定）の制作を続けていますが、里美村（現・常陸太田市）で料紙の制作が行われるようになったのは、小室さんの父で同村出身であった徳^{とく}さんが、終戦により、京都で習得し東京で磨いた技術を携え郷里に戻ったことによります。主に雁皮紙を原紙として使用し、金銀箔の細い線である野毛^{のげ}を撒くことを多用する徳さんの技術は、息子である義久さん、孫である久さんへと受け継がれ、今日に至っています。

本展では、小室さん親子制作の「かな料紙」約40点によりさまざまな技法と用途の広さを紹介いたします。また、会場では道具や映像により制作過程も紹介いたします。

つきましては、多くの皆さまにご覧いただけますようご高配を賜りたくご案内申しあげます。

- 会 期：平成 23 年 5 月 31 日（火） ～ 平成 23 年 7 月 24 日（日）
- 休 館 日：毎週月曜日
- 開館時間：10：00～17：45
- 会 場：常陽史料館 アートスポット（入場無料）
〒310-0024 水戸市備前町 6-71
TEL：029-228-1781（代表）